

日高の野菜・花き生育情報



新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
《7月中旬～8月上旬》


令和5年7月15日発行
第3号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】


- ①ハウス内は高温で経過するため、生育抑制や着果不良、セイヨウオオマルハナバチの飛翔低下など、高温障害に注意しましょう。側窓、妻窓、天窓や換気扇等を活用して換気を十分に行うとともに、気温の上昇に応じた適切なかん水管理を行い、収量及び品質の向上を図りましょう。
- ②遮光資材を利用する場合は、曇天時の被覆は避け、過度な遮光とにならないように注意しましょう。
- ③セイヨウオオマルハナバチを導入しているハウスは、ハウス内温度を17～30℃の範囲で管理しましょう。使用済みの巣箱の最終処分は確実に行きましょう。
- ④高温時の薬剤散布は薬害を生じやすいため、高温となる時間帯を避けて行きましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	<ul style="list-style-type: none">• 生育の遅れは回復しつつあります。一部、着果負担により樹勢の低下がみられています。• 作業は主枝7～11節目の収穫、整枝が行われています。• 6月下旬～7月上旬をピークに尻腐れ果・日焼け果の発生が見られています。• 着果数が増えて株への負担が大きくなる時期です。草姿や開花位置、花柱の様子を確認し、適切なかん水や追肥を実施しましょう。	<ul style="list-style-type: none">• アブラムシ類、アザミウマ類、の発生が見られています。  <p>【アブラムシ】</p> <ul style="list-style-type: none">• 湿度の上昇により斑点病や灰色かび病の発生が懸念されますので、予防を意識した防除を実施しましょう。
ミニトマト 3月定植 品種：キャロル10	<ul style="list-style-type: none">• 生育は概ね順調ですが、6月下旬からの高温により裂果が発生しました。• 作業は収穫、株の抜き取りが行われています。• 7月中旬で収穫終了となります。抑制作型に向け、育苗および定植準備をしています。• 斑点病が散見されます。罹病株を抜き取った後に、抑制栽培の苗を定植すると、定植直後に斑点病を発症する可能性があります。苗に斑点病の防除をしてから定植しましょう。	<ul style="list-style-type: none">• 気温および湿度の上昇によって、斑点病や灰色かび病が散見されます。• 天気予報にて降雨が続きそうな場合、降雨の前に予防防除を済ませましょう。  <p>【斑点病】</p>

<p>いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すずあかね</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調です。一部ほ場では着果負担により果実肥大が緩慢になっています。 ・作業は摘葉、摘果、芽かき、ランナー除去、収穫、収穫後の果房除去が行われています。 ・着果負担のかかる時期です。収穫中盤～後半に向け、給液管理や花房整理を徹底し、良好な生育を維持しましょう。 ・ECの目安 0.7～0.8mS/cm 前後 ・排液率の目安 20%～30% 	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫：アザミウマ類が散見され、一部でハダニ類、アブラムシ類が見られます。  <p>【アザミウマ類】</p>
---	--	--

【花 き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
<p>デルフィニウム ハウス作型</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調です ・作業は順次、定植～採花が行われています。 ・高温多湿が続き、株が弱りやすいため、かん水は少量多回数管理を心がけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部で灰色かび病、うどんこ病の発生が見られます。多発となる前に防除を徹底しましょう。  <p>【うどんこ病】</p>

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★